

# 公益社団法人大分県臨床検査技師会

## 令和4年度総会議事録

日時 令和4年6月5日（日） 10:00～11:45  
場所 ホルトホール大分 大会議室

定款第13条に基づきこの定期総会は、山下理事の開会の辞により開会した。

会長挨拶後、表彰式が行われる。

### 〔表彰式〕

大森表彰審査委員長より審査経過報告があり、各氏が推薦された。この後、引き続き表彰式が行われ、次の各氏が表彰された。

名誉会員表彰 該当者なし

功労者表彰 該当者なし

永年職務精励者	伊賀上 郁	渡辺 千恵	渡辺 功
	衛藤 美佐子	小野 清史	山下 圭子
	三砂 貴弘	鶴飼 聡子	磯村 眞由美
	江川 淳子	梁井 恵子	秋月 友子
	梅田 祐次	丸山 晃二	山口 直美
	児玉 正明		

定款第15条に基づき、総会議長への立候補並びに推薦を求めたところ、松永 秀幸技師が推薦提案され、これを満場の挙手で承認した。

書記、資格審査委員、議事運営委員をそれぞれ各氏に任命し承認した。

書	記：後藤 美穂	(アルメイダ病院)
	田中 優里	(天心堂へつぎ病院)
資格審査委員：	木元 広大	(大分赤十字病院)
議事運営委員：	同 上	

資格審査委員より次のとおり、定款第 17 条に基づき本総会が成立する旨宣言された。また、第 7 号議案 定款の変更についても出席社員、委任状の合計で 3 分の 2 を超え、議案審議が成立する旨宣言された。

議事運営委員より議事運営を 1 時間で終了するよう宣告された。

会員数	：	877 名	出席者数	：	32 名
			委任状数	：	562 名
			合計	：	594 名

定款第 18 条に基づき議事録署名人をそれぞれ各氏に任命し、満場の挙手で承認した。

議事録署名人

曾我 泰裕	(鶴見病院)
金内 弘志	(大分医療センター)

## 〔会長挨拶・経過報告〕

### 経過報告

#### 【日臨技関係】

令和3年度事業計画の重点事業として、47都道府県から選出された56名の理事による理事会運営、都道府県技師会との連携強化と情報交換、会員への迅速な情報提供等を掲げたが、新型コロナウイルス感染拡大により延期・中止となることも多く、当初の計画を縮小しての事業となった。

- ① 公益目的事業である精度保証事業(精度管理事業・精度保証施設認証制度)を見直し、「品質・精度管理に係わる基準」に対応できる精度保証全般のシステムを再構築し、令和4年6月よりスタートされる。
- ② 学術・技術振興事業においてはWeb研修システム(オンデマンド)の構築を行い、日臨技主催研修会・講習会(支部含む)でのWeb開催体制を整備した。  
第70回日本医学検査学会の開催は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現地開催から5月15日、16日に福岡国際会議場、マリメッセ福岡で一部LIVE開催とWeb開催(オンデマンド:5月15日～6月14日)の併設で開催した。参加者は7,691名で多くの参加を得た。第71回学会は令和4年5月に大阪で開催される。
- ③ 支部学会・支部研修会は、web開催を主体に開催された。九州支部は微生物部門を除く8部門が開催した。
- ④ 各種認定試験は会場を一か所として同日にweb開催で実施した。
- ⑤ 災害対策強化石業として47都道府県技師会と災害時支援協定書を結んだ。

#### 【九州支部関係】

丸田秀夫理事は、日臨技副会長として尽力され、特にタスクシフト/シェアについては多方面で活躍された。日臨技各県担当理事(沖縄県:手登根稔理事、鹿児島県:小野三智男理事、宮崎県:花牟禮富美雄理事、大分県:佐藤元恭理事、熊本県:田中信次理事、佐賀県:百田浩志理事、長崎県:山口英人理事、福岡県:西浦明彦理事)は各委員会・WGにて活躍された。タスクシフト/シェアの支部講習会は熊本県担当で12月に各県から60名の参加を得て実務者の育成を行った。支部研修会及び第55回支部学会は沖縄県の担当で開催されたが、参加人数の減少と現地開催からweb開催への変更に伴う会場のキャンセル等により赤字決算となった。また、支部生理部門研修会も赤字決算となった。令和4年度の第56回支部学会は福岡県が担当で準備されている。

## 【大分臨技関係】

- 1) 各事業について、総務関係では定例の常務理事会及び理事会を開催して業務を遂行した。学術部・組織部・企画部の活動は、コロナ禍により自粛しなければならない状況での事業となった。
- ① 各市町村・他団体との健康イベントは自粛・中止が多く開催されなかった。日本臨床衛生検査技師会の委託公益事業としての「全国検査と健康展」は、感染対策に配慮しながら2年ぶりに開催し、インボディー、骨密度、健康チェック、検査の仕事、学校紹介等を行った。
- ② リレーフォーライフ大分2021は、令和3年10月24日(日)、大分スポーツ公園「大芝生広場」において縮小して開催され、チーム名を「検査deみつけ隊」として、10名が参加した。
- ③ 大分県保険医療団体協議会(11団体)で毎年開催する“げんきフェア”は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、「げんきフェア・保健・医療・福祉のお仕事紹介」として、各団体の仕事に関する紹介動画を作製し、大分県内の学生を対象に YouTube で動画配信を行った。
- ④ 大分県医師会・大分県臨床検査技師会合同での精度管理事業を7月に実施し、12月に精度管理報告会をLIVE開催した。また、技師会の遺伝子部門・臨床微生物部門合同でSARS-CoV-2精度管理調査を実施し、次年度以降は大分県医師会・技師会精度管理調査として運用を考えている。
- ⑤ タスクシフト/シェアに対しての実技講習会は、令和4年3月13日(日)大分県看護協会の研修室において58名の参加を得て第一回を開催した。
- ⑥ 各学術部門研修会:21回(前年度10回)、  
総参加者数:571名(前年度325名)  
生物化学分析部門4回、染色体・遺伝子部門1回、臨床微生物部門2回、  
臨床一般部門3回、輸血細胞治療部門4回、臨床生理部門4回、  
臨床血液部門3回、病理細胞部門3回、臨床検査総合管理部門1回を  
全てWeb開催した。
- ⑦ 学会・その他  
データ標準化事業研修会:R3年6月、学術合同地区合同講演会:R3年12月、  
学術合同講演会R4年1月、大分県臨床検査学会をR4年2月に開催し、  
全てWebで行った。

## 今後の課題

- 1) 医師の働き方改革を進めるためのタスクシフト/シェア講習会の定期的開催
- 2) 「臨床検査技師学校養成所指定規則等」が改正され、臨地実習指導者講習会への参加
- 3) 事務所設立に対して早期の草案作成
- 4) 各種研修会、会議に対して Web 開催の検討(機器を含む)
- 5) 大分県医師会・技師会との合同精度管理事業、標準化事業の整備
- 6) 定款及び各種委員会の規約の改正

## 〔議案審議〕

1. 第一号議案 令和3年度事業報告について  
事業報告は疋田副会長が行い、引き続き事務局、学術部、組織部、企画部がそれぞれ議案書に基づき報告した。
2. 第二号議案 令和3年度会計報告について  
宮本経理部長が議案書に基づき報告した。
3. 第三号議案 令和3年度監査報告について  
羽生会計事務所 一木氏より会計監査報告があった。  
佐藤（久）監事より業務監査報告があった。

## 〔一～三議案についての質疑応答〕

- Q. 議案書が手元に届くのが遅く、なおかつ議案の中で白紙の部分があり、当日初めて議案内容が確認できるのはおかしいのではないか。委任状の書きようがない。役員人事については、最重要事項であり、3月頃には決定していたのではないか。議案書に役員（案）を載せるべきだと思う。
- A. 前回ご指摘頂いていたが、行動が滞っていた部分もあり、抜本的な改善には至らなかった。来年度に向け努力していきたい。
- A. 役員人事は組織で決める事であり、混乱を防ぐ措置として発表は控えた。一度白紙に戻して再度議案として挙げ、承認されれば変更は可能と思われる。（細井選挙管理委員・役員推薦委員）

この後、議長が報告について意見を求め、賛成多数で承認した。

4. 第四号議案 令和4年度事業計画について  
丸山副会長より議案書に基づき提案説明した。
5. 第五号議案 令和4年度予算案について  
宮本経理部長より議案書に基づき提案説明した。

[四～五号議案についての質疑応答]

Q. なし

A. なし

この後、議長が提案について承認を求め、賛成多数で承認した。

6. 第六号議案 令和4、5年度役員選出について  
細井選挙管理委員・役員推薦委員より理事21名、監事2名の理事候補者が提案説明された。

**【理事】**

丸山 晃二 (重任)	山下 広光 (重任)	宮本 綾 (重任)
矢野 浩文 (重任)	渡部 亨 (重任)	三浦 邦彦 (重任)
宮崎 いずみ (重任)	伊賀上 郁 (重任)	河野 好裕 (重任)
千崎 正教 (重任)	那賀 美恵 (重任)	立川 良昭 (就任)
濱野 貴磨 (就任)	八尋 隆明 (就任)	平川 功二 (就任)
曾我 泰裕 (就任)	甲斐 まさみ (就任)	金内 弘志 (就任)
小松 由明 (就任)	山崎 貴史 (就任)	安藤 麻由美 (就任)

**【監事】**

金丸 和浩 (重任)	佐藤 元恭 (就任)
------------	------------

[六号議案についての質疑応答]

Q. 部門委員として、後輩に自分のスキルをボランティアで伝えたいと申し出たが、3月上旬にはすでに委員が決定していたため、断られた技師がいる。人事が不透明な気がするが。

A. 3月の時点で全て決まっているわけではない。案はあるが総会で決定することには変わりはない。学術部門長の選出は学術部門で行っている。引継ぎという形なので、その方にはサポートして頂きたいと考えている。

Q. 役員人事の件で混乱を生じるとの発言があったが、具体的にはどのような事か。

A. 組織人事は一般社員には基本的に公表しない。技師会の理事をすることと同じ職場で仕事の負担が増えるから、やめて欲しいということになりかねない。

Q. 候補者には話をしているが、各施設の技師長へは話をしたのか。

A. 了承を得られなかった場合は技師長へお願いした。次回からは必ず技師長へ話を通したい。

Q. 顧問の医師には、技師会の事をもっと知っていただき、協力してもらう方が良いのではないか。

A. その通りだと思う。顧問の医師とは、挨拶も含め連携を深めていきたい。

Q. 技師会員が喜ぶような技師会にして頂きたい。今後理事になる方にも頑張ってもらいたい。

A. 新体制のもと、努力していきたい。

これらの者につき議長がその可否を諮ったところ、定款第 17 条 3 項に基づき賛成多数で上記のとおり重任および就任することに可決確定した。なお、被選任者は、いずれもその重任および就任を承諾した。

7. 第七号議案 定款変更について  
丸山副会長より議案書に基づき提案説明した。

[7号議案についての質疑応答]

Q. なし

A. なし

この後、議長が提案について承認を求め、賛成多数で承認した。

8. その他

1) 事務所設立について（報告）

山下事務局次長より、事務所設立に関する経過報告および今後の予定について報告説明された。

2) タスクシフト/シェアに関する研修会の受講について（報告）

山下事務局次長より、タスクシフト/シェアに関する研修会の受講について経過報告および今後の予定について報告説明された。

この後、議長が報告事項について質疑を求め、質疑無く承認した。

すべての議案審議が終了し、総会役員及び書記が解任され、ついで議長解任の挨拶をした後、山下 広光理事が閉会の辞を述べ散会した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人が次に署名する。

議 長 松永 秀幸

議事録署名人 曾我 泰裕

議事録署名人 金内 弘志